

決算委員会 会議録

日 時 令和6年9月24日（月曜日） 午前10時00分～午前10時51分
場 所 白杵庁舎2階 全員協議会室

出席委員の氏名

委員長 伊藤 淳	副委員長 匹田久美子	委員 平川 幸司
委員 甲斐 尊	委員 安東 鉄男	委員 芝田 英範
委員 河野 巧	委員 川辺 隆	委員 梅田 徳男
委員 広田 精治	委員 戸匹 映二	委員 奥田富美子
委員 匹田 郁	委員 武生 博明	委員 吉岡 勲

オブザーバー

議長 内藤 康弘

欠席委員の氏名

委員 牧 宣雄

説明のため出席した者の職氏名

代表監査委員 稲垣 則夫 監査委員（議会選出） 大塚 州章
上下水道課長 併 水道事業所長 齋藤 隆生 その他関係職員

出席した事務局職員の職氏名

局長 林 昌英 書記 二宮 貴司 主幹 原 伸行 主査 大井智香子

傍聴者

（ な し ）

会議に付した事件及び審査結果

<審査議案>

番 号	件 名	審査結果
第77号	令和5年度白杵市水道事業会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第78号	令和5年度白杵市下水道事業会計歳入歳出決算の認定について	原案認定

午前10時00分 開議

○委員長（伊藤 淳）

ただいまから決算委員会を開催いたします。傍聴の申し出がありました場合は、許可したいと思いますので、ご了承願います。

それでは始めに、執行部より概要説明をお願いいたします。

◎上下水道課長（齋藤隆生）

おはようございます。令和5年度臼杵市水道事業会計歳入歳出結果決算の認定並びに令和5年度臼杵市下水道事業会計、歳入歳出決算の認定に当たりまして概要等を説明いたします。

座って説明をさせていただきます。

全国的な地方公営企業の状況につきましては、人口減少等による伴うサービス需要の減少や、施設の老朽化に伴う更新需要の増大など、経営環境の厳しさが増しております。

このような中、本市における令和5年度の水道事業と下水道事業の決算状況につきましては、給水収益や下水道使用料が減少していますが、費用において、修繕費といった施設維持の一部に増加が見られるものの、物価高騰に対する国の補助により、動力費は減少し、また企業債償還額もピークを超え、減少傾向となっております。

さらに、減価償却の減少等、長期前受金戻入金の影響などによって、水道事業会計、下水道事業会計ともに損失を生じることなく、黒字決算となっております。

また、建設改良事業では、企業債残高に留意しつつ、中長期的な視点に立った水道施設や下水道処理施設の改良更新、そして雨水対策事業に取り組んだところであります。

以上が概要であります。今後も経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に努めながら、安心、安全でおいしい水の供給と水質環境の保全、そして雨水対策を推進していきたいと考えております。

なお詳細につきましては後程説明いたします。

タブレットの画面をめくりながら、また場合によってはもしお手持ちでしたら決算書見ていただくという形で説明したいと思います。

ご理解、ご承認を賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（伊藤 淳）

ありがとうございました。執行部より概要説明が終わりました。

続きまして、監査委員から審査経過についての報告をお願いいたします。

◎代表監査委員（稲垣則夫）

代表監査委員の稲垣でございます。

監査委員を代表し、令和5年度臼杵市公営企業会計決算審査結果につきまして、ご説明いたします。座って説明させていただきます。

審査の結果、経営成績及び財政状況を表す財務諸表や付属書類等は、地方公営企業法に準拠して作成され、適正に処理されていることを確認いたしました。

なお、具体的な数値等については、決算審査意見書で詳しく申し述べておりますので、詳細な説明は省略させていただき、要点についてご説明いたします。

まず、公営企業会計のうち水道事業会計の経営実績として、収益的収支について述べます。

消費税抜きの収益的収入の総額は、6億8,641万円であり、それに対する収益的費用の総額は、6億8,312万円で、差引329万円の利益が生じております。

次に、資本的収支について述べます。

消費税込みの資本的収入の総額3億6,603万円に対し、資本的支出の総額は、5億8,151万円
で、差引2億1,547万円の不足が生じております。

この不足額に対する補填財源につきましては、過年度分損益勘定留保資金1億9,322万円、当
年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額2,225万円で補填されています。

令和5年度の水道料金の収入状況は、収入済額が約6億2,314万円となっており、収入率は90.
95%で、前年度末の93.02%に比べて、2.07ポイント悪化しております。

また、令和5年度に繰り越す給水収益未収金につきましては、前年度末と比較して約1,787万円
増加の6,155万円であることから、未収金等の減少に向け、気を抜くことなく、取り組みの継続を
要望するものであります。

以上、水道事業におきましては、今後とも、臼杵市水道事業経営戦略等の中長期的な計画に基づき、
より一層、効率的かつ合理的な事業運営を図られるよう努めていただきたい。

続きまして、公営企業会計のうち下水道事業会計の経営実績として、収益的収支について述べます。

消費税抜きの収益的収入の総額は、11億4,220万円で、それに対する収益的費用の総額は、1
1億3,345万円で、差引875万円となっております。

次に、資本的収支について述べます。

消費税込みの資本的収入の総額5億6,563万円に対し、資本的支出の総額は、8億2,555万円
で、差引2億5,992万円の不足が生じております。

この不足額に対する補填財源につきましては、過年度分損益勘定留保資金1億7,024万円及び当
年度分損益勘定留保資金8,673万円等で補填されています。

令和5年度の下水道料金の収入状況は、収入済額が約3億1,593万円となっており、収入率は9
1.66%であります。

また、令和6年度に繰り越す未収金につきましては、

2,854万円であります。公平性、平等性の観点から今後も収入率向上に向け、一層の取り組みの
継続を要望するものであります。

下水道事業におきましては、今後も、中長期的な計画に基づき、経営の健全化、施設管理の最適化に
取り組まれ、効率的な事業推進と経営基盤の強化に向けた取り組みに努めていただきたいと思います。

水道事業、下水道事業ともに、適切で計画的な施設整備を行うとともに、より柔軟で効率的な運営に
努められるよう、一層の努力を期待しています。

以上で、令和5年度公営企業会計決算審査に対する説明を終わります。

○委員長（伊藤 淳）

ありがとうございました。監査委員からの報告が終わりました。それではこれより、お手元の次第に
あります議案2件につきまして、審査を行います。まず、第77号議案 令和5年度臼杵市水道事業会
計歳入歳出決算の認定について を議題といたします。執行部の説明を求めます。

◎上下水道課長（齋藤隆生）

（ 「令和5年度臼杵市水道事業決算書」に基づき説明 ）

○委員長（伊藤 淳）

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は、挙手をもってお願いします。

○委員（河野 巧）

16ページの業務の概要というところで、給水人口は減っているのですが、給水戸数は変わらずってことで、なかなか空き家になっても、そのまま一応メーター置いているからその戸数は変わらないっていう形になるのか、ただ単に世帯の人数が減ったから、こういう形になっているのかわかる範囲でご説明をお願いします。

◎上下水道課長（齋藤隆生）

河野議員のご質問にお答えいたします。

給水戸数は、料金をかけている戸数でカウントしておりますので、そういった部分での戸数の変動がたまたまなかったということです。

○委員（河野 巧）

ありがとうございます。それから18ページの4-2料金回収率が令和4年度から5年度にかけて、すごく回収率が上がっているのですが、これは計算の仕方が変わったのかそれとも皆さん方のご努力で上がったのか、わかる範囲でご説明をお願いします。

◎上下水道課長（齋藤隆生）

河野議員のご質問にお答えいたします。

損益計算の説明で触れたのですが、令和4年度に基本料金の減免の事業を行っております。

この分は、料金回収率の算定基礎に入っていないものですから、どうしても令和4年が非常に悪く見えます。

臼杵市の大体ベース考えると料金回収率が、本来だったら、若干減少傾向ぐらいですから90数パーセントかなというふうには考えております。以上です。

○委員（河野 巧）

はい。ありがとうございます。

最後にもう一点。田舎の方に行きますと、給水人口が減っているものですから、水道水の温度が高くなっているのですが、それに対応するようなことを令和5年度に何か行われたことがあればお示ください。

◎上下水道課長（齋藤隆生）

河野議員のご質問にお答えいたします。

事例として一番わかりやすいのは中臼杵地区になるのですが、どうしてもエリアとしては非常に広がっています。集落が点在している関係で非常に温度が高い。

今年はどうしても全国的に気温が高かったものですから、人口集中地域でも非常に温度が高いという話もありましたが、中臼杵などは、特にそれ以前も高いものですから、私どものほうで消火栓を開けます。これにより料金がかからない水を発生させる形になりますけれども、飲めるような形で水を供給するため温度上昇を防ぐといった工夫はしております。

それ以外にも必要があれば、基本的には消火栓を開けて水を捨てるという形で、水の対流を促す。そういった部分は、有収率にはね返ってきますので、どうしても有収率が上がらなくなることになります。

○委員長（伊藤 淳）

他にありませんでしょうか。

○委員長（奥田富美子）

同じく18ページのところの下、4の2の表管路経年化率と管路更新率の説明のところで、全国平均より臼杵はよいというような説明をいただいたと思うのですが、何か特徴があるのでしたら教えてください。

◎上下水道課長（齋藤隆生）

この管路経年化率については、先ほどもご説明したとおり、あくまで耐用年数で判断する指標になります。

臼杵が全国よりも、経年化率が割と低めということもありますが、この辺はどちらかというと、日頃から道路事業とかに合わせて、必ず管理の更新を適切にやってきているということも要因にあると思います。また、減価償却上、年数があまり経ってないものもあります。

あとは、基幹管路というものがあります。

一番大きな給水の大元にあたる管路、こういったものは、臼杵市は、老朽化が比較的進んでない、耐震化がされているというような指標とは別にありますんで、そういった部分ではできているのかなと思います。耐震化率は全く別のものになりますが、あくまで経年数の話であります。

○委員長（伊藤 淳）

他に質疑はありませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（伊藤 淳）

ないようでしたら、これより討論にはいります。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（伊藤 淳）

以上で討論を終わります。これより採決を行います。第77号議案については、原案のとおり認定することにご異議ありませんか。

（ 「異議なし」の声 ）

○委員長（伊藤 淳）

ご異議なしと認めます。よって、第77号議案については、原案のとおり認定すべきものとして決しました。それでは次に、第78号議案 令和5年度臼杵市下水道事業会計歳入歳出決算の認定についてを議題といたします。執行部の説明を求めます。

◎上下水道課長（齋藤隆生）

（ 「令和5年度臼杵市下水道事業決算書」に基づき説明 ）

○委員長（伊藤 淳）

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（伊藤 淳）

ないようでしたら、これより討論にはいります。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（伊藤 淳）

以上で討論を終わります。これより採決を行います。第78号議案については、原案のとおり認定することにご異議ありませんか。

（ 「異議なし」の声 ）

○委員長（伊藤 淳）

ご異議なしと認めます。よって、第78号議案については、原案のとおり認定すべきものとして決しました。これで上下水道課所管の議案の審査を終わります。ご苦労さまでした。

○委員長（伊藤 淳）

以上で、本委員会に付託を受けました議案2件の審査を終わります。以上で決算委員会を閉会いたします。

午前10時51分 閉会

臼杵市議会委員会条例第30条第1項の規定により、ここに記録を作成する。

令和6年9月24日

臼杵市議会

決算委員会委員長 伊 藤 淳